

デザイン面で都合がわるいから？

そんな危険性は最初から考えてないから？それでは言い訳になりません。
公共施設の工事では当たり前で一般住宅の工事ではあまり配慮されていないこの事実、一体どうなっているの???

正直に話すと完全バリアフリーは難しい場合が多いのも事実なのです。

それは家の立地条件など色々な要素が含まれますからね。

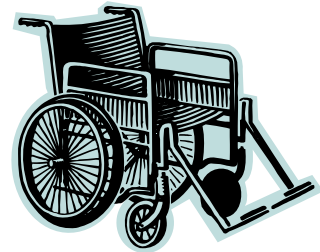
しかし高齢者の住むお宅、もしくは小さなお子様のいるご家庭などに対して、その危険性については、よく知っておいていただくべきではないか？と思うのです。

「何か弱い者の味方ばかりして偽善者ぶらないでよ！」

あなた……そこまで言います？

でもね、私は簡単な気持ちでこのレポート書いている訳じゃないのですよ。

本当はこんな事、言いたくは無けれど、この際だからなぜお年寄りや小さな子供達の安全性にこだわっているのかハッキリとお伝えしたいと思う。



私事で大変恐縮なのですが、私の娘は重度の障害を持っています。

そして彼女の通ってきた施設には当然多くの肢体不自由な方も通っていらっしやる。

その様な方々を目の当たりにし、苦労話しを幾度も聞いてきました……。

そして「もっと介護する側もされる側も楽しても良いじゃないか！」

そう思うのにそれほど時間はかかりませんでした。

日々介護する人、そして介護される人が日常どんな苦勞をしているのか、あなたは御存知ではないかもしれません。

たった10センチなんですよ！そのたった10センチの段差のために自由な行動が許されなくなるのです。

移動するにも一人では出来ませんし、介護する人も毎日毎日大変な思いをしなければならなくなる。

それは普段何事も無く生活している我々には想像すら出来ない大変なことなのです。

考えてみてください、30年後40年後、あなたは今のまま健康で何不自由無く生活して行くことが可能でしょうか？そんな保証を誰がしてくれるでしょう？

これはあなたを脅しているのではありません、そう思われるのは私にとってとても不